

## 令和3年度第5回我孫子市平和事業推進市民会議 会議概要

### 1. 開催日時

令和4年2月5日（土）午前10時00分～午前11時45分

### 2. 開催場所

水の館 3階 研修室

### 3. 出席者

(委員)

北嶋会長、原副会長、見城委員、桑原委員、小山委員、早乙女委員、長塚委員、肥後委員、  
的山委員、糸山委員、山田恒久委員、山田典子委員

(事務局)

企画課：高見澤課長、寺田主幹、大山主査長、稲垣主任、岡村主任

### 4. 傍聴人

なし

### 5. 議題

1 開会

2 平和の集いについて

3 リレー講座について

(1) 年間予定

(2) 小学6年生以外への平和事業の波及について

4 その他

(1) 「月刊社会教育」への我孫子市平和事業紹介記事掲載について

5 閉会

## 6. 議事

### 1 開会

### 2 平和の集いについて

#### 【事務局】

平和の集いの際に集めたアンケートの集計結果の報告を行った。

#### 【委員からの意見等】

- ・ブログからの発信には限度がある一方、SNS を活用した情報発信は慎重に行うべきである。
- （事務局）若い世代に発信していくために、SNS を有効に活用していきたい。先般、川村学園女子大学で実施したアンケートで、若い世代に情報を発信するには Twitter が一番効果的という結果が出た。発信する内容等は十分に気を付けながら進めていければと思う。若い方々から積極的な意見をいただきたい。
- ・広報誌を見ている人が多い。不特定多数の、特に高齢の方が出入りするような店舗などに設置されれば、もっと見る人が増えると思う。
- ・平和の集いで、学びの場の創出や提供ができればもっと多くの方に参加していただけるのかもしれない。
- ・演劇を観るために参加されている人も多いように思う。歌詞を募集して市民参加型で曲をつくることなども検討してもいいのではないか。若い人にも響くと思う。
- ・若い世代の参加が少ない。大学でチラシの設置をしたが、多くの学生に見られていたわけではない。研究室などに設置してもらえるように働きかける。自身もフェイスブックは使用しておらず、学生はインスタグラムなどが主流と考える。
- ・今年の演劇は、いつにも増して素晴らしかったと評判が良かった。

### 3 リレー講座について

#### (1) 年間予定

#### 【事務局】

今年度の実施状況の報告と今後の日程確認、また、次年度の方針について説明を行った。

#### 【委員からの意見等】

- ・来年度、参加できるときは、委員の皆様にもぜひリレー講座に参加してほしい。平和事業推進市民会議の事業の一つとして、携わっていただきたい。
- ・講師を育てるためには、時間と労力は必要になるが、練習会を省くことはできない。自分が長く携わっているが、後任がいない。ぜひ皆様をお願いしたい。
- ・講師それぞれの個性を見出してあげないといけない。教科書や学校で学んだことの披露ではなく、広島や長崎で感じたことや直接聞いた話などから自分が知ったこと、感じたことを伝えられるようになってほしいと思いながら対応している。
- ・講師として参加する立場として意識していることは、実際に広島に行ってどういうことを感じたのかなど、派遣中学生だからこそ伝えられることを話すようにしている。
- ・今回講師の練習を見せていただいて、学生の「派遣に行っただけで終わりにしない」という

熱意がすごく伝わってきた。その気持ちを、周りが受け止めてあげないといけない。そういった気持ちを表現できる場所や他の人にその思いを伝えられる場所を提供し、さらにサポートしてあげたいと強く感じた。

## (2) 小学6年生以外への平和事業の波及について

### 【事務局】

11月に行われた子ども議会において提案があった平和事業の波及について、事務局から概要と方向性(案)の説明を行った。

### 【委員からの意見等】

- ・リレー講座の実施は、6年生が一番適切ではあるが、より早い段階で平和について触れる機会があることは良いことだと思う。
- ・保護者も参加できるような機会があるとよい。学校によっては、参観日に開催してくれているが、人数の都合などでできない学校もある。授業風景を撮影しても、不特定多数の方々に見てもらうようにするのはハードルが高い。その学校で撮影した映像を、受講した生徒の保護者に見てもらえるような形であれば、実施しやすいかもしれない。一緒に聞いてもらうことで、家庭で平和について話す良い機会になると思う。派遣事業にもつながりやすいと思う。
- ・過去には模擬授業を平和の集いや大学で実施したこともある。次年度に動画をどう作成し、どう活用していくかを協議していきたい。
- ・6年生以外でのリレー講座の実施はあまり賛同できない。6年生で初めてやることで、生徒の目が違う。初めてのことを聞く新鮮な気持ちがあるのだと思う。期待を込めて講師の話を聞いている姿を見ると、あまり早くから実施すると、生徒たちの関心が薄れてしまうのではと思ってしまう。
- ・授業参観でリレー講座をやっていただく学校があるが、保護者に聞いてもらうことも大切だと思う。
- ・授業参観での実施は賛成。保護者の立場としても楽しみにしている。授業以外でも我孫子市内には平和を学ぶ場所がたくさんある。原爆が落とされた日や終戦記念日も知らない子どもが増えているので、写真等で平和について触れていただくことは早めに実施していただいても良いのかもしれない。

## 4 その他

### (1) 「月間社会教育」への我孫子市平和事業紹介記事掲載について

山田恒久委員より、掲載依頼が来た経緯と掲載に関する概要、スケジュールについて説明があった。

### 【委員からの意見等】

- ・雑誌の趣旨と我々市民会議の平和事業への取り組みは同じ方向を向いていると考えている。多くの方に平和について考えてもらうことと、我々の取り組みが多くの方に知っていただける良い機会だと考える。
- ・事業や取り組みの発信は、この会議の課題の一つだと認識している。今回のチャンスは有効に活用したほうが良いと思う。

- ・雑誌に取り上げられることで、学びとして認知されるいい機会だと思うので、やっていくべきだと思う。
  - ・雑誌の読者層はどのような人たちか。
- （山田恒久委員）主に教育現場に携わっている方々に読まれていると思われる。発行部数は2,000部くらいと聞いているので、そこまで多くはないかもしれないが、決してマイナーではなく、この事業を知ってもらいたいターゲットとしてピンポイントだと思う。
- ・個人ではなく、市民会議としての執筆としたい。
- （事務局）このことについて皆さんの賛同をいただいたものとし、山田恒久委員らと調整しながら事務局としても進めていく。

## 5 閉会

各委員からの感想と、企画課長からの挨拶で閉会した。

以上